

石川直樹 「まれびと Wearing a spirit like a cloak」

会期: 2022年2月12日(土) - 3月19日(土)

会場: amanaTIGP

amanaTIGP は、2月12日(土) から3月19日(土) まで、石川直樹「まれびと Wearing a spirit like a cloak」展を開催いたします。タカ・イシイギャラリー (complex665) での同作家個展「MOMENTUM」と同時開催される本展では、日本の来訪神行事を記録したシリーズ「まれびと」より16点を展示いたします。

仮面を身につけ異形の姿をとる神が人々に畏怖の念を喚起させ災厄を祓う儀礼は日本各地に多様な形で存在しています。民俗学者の折口信夫(1887-1953)は、時を定めて異界から訪れる神「まれびと(=客人)」を迎え入れる風習が古来より民間伝承として受け継がれてきたことを指摘したうえで、来客をもてなす伝統的慣習との結びつきを論じています。年に一度執り行われるこうした「まれびと」儀礼の一部は、2018年に「来訪神：仮面・仮装の神々」としてユネスコの無形文化遺産に登録されました。

言葉以前の叫びを発しながら、異形の存在が民家の軒先に上がっていく。村の人はそれを拒絶せず、畏れながらも受け入れて歓待する。日常と非日常が交わる特殊な光景です。でもここに、日本列島に生きた人々が異質な他者とどう向き合ってきたのか、その原型があるように思う。いまは子どもに、見知らぬ人と話してはいけないなどと教えたりしますが、それとはまったく違う出会いの作法がここにあると思います

石川直樹「異形の神々から日本を視る」『アサヒカメラ』、朝日新聞出版、2013年4月号、p.185

世界各地を絶えず渡り歩きその土地固有の風景を撮り続けてきた石川の写真は、豊かな情報量を含んだ記録性を有すると同時に、独自の表現として屹立しています。北極から南極まで至るプロジェクト「Pole to Pole」や先史時代の洞窟壁画を記録した「NEW DIMENSION」、ポリネシアの諸島を巡る「CORONA」など、その活動は地球全土を縦横無尽に踏破することによって生み出されています。同作家によるシリーズ「まれびと」は、北は秋田県能代市の浅内集落から南は沖縄県の波照間島まで、時には悪天候に苛まれながらもカメラを携えて日本列島に点在する来訪神行事を10年以上にわたって撮り溜めてきた作品群です。

玄関先に突如としてその姿を現した岩手県大船渡市三陸町吉浜の「スネカ」を捉えた一枚の作品が示唆するように、石川は共同体の内部へと溶け込み神々の後を追いかけて、一連の儀礼を写真に収めていきます。そこに写し取られた、異世界から訪う「自分たちとは異なる存在」の原始的化身は、人々の豊かな想像力を反映するかのように多種多様な外見的特徴を有しています。さらに、石川の写真は「まれびと」たちもたらす非日常空間も色濃く写し出しています。一連の儀礼が始まる前の静謐な風景の記録に加え、地域の男性たちが仮面や蓑、蔓草を纏い神へと姿を変える有様、そして地域住民たちの日常生活が営まれる空間にその姿を現し、空気を一変させる瞬間が捉えられています。本展で展示されるこうした石川の写真群では、常世と現世が入り混じる特殊な場を体験することができるでしょう。世界最高峰を巡る登山活動

や民俗学的フィールドワーク、そしてテキストの執筆といった多方面に広がる活動から培われた石川独自の多角的視座は、日本文化の根源や代々受け継がれてきた固有の精神性を浮かび上がらせてます。

【同時開催】

石川直樹「MOMENTUM」

会期: 2022年2月12日(土) - 3月12日(土)

会場: タカ・イシイギャラリー (complex665)

【アーティストトーク】

日時: 2022年3月6日(日) 15:00

会場: タカ・イシイギャラリー (complex665)

予約制

石川直樹は、1977年東京生まれ。写真家。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。2008年『NEW DIMENSION』(赤々舎)、『POLAR』(リトルモア)により日本写真協会賞新人賞、講談社出版文化賞。2011年『CORONA』(青土社)により土門拳賞を受賞。2020年『EVEREST』(CCCメディアハウス)、『まれびと』(小学館)により日本写真協会賞作家賞を受賞した。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』(集英社)ほか多数。2016年に水戸芸術館ではじまった大規模な個展「この星の光の地図を写す」が、新潟市美術館、市原湖畔美術館、高知県立美術館、北九州市立美術館、東京オペラシティ アートギャラリーに巡回。同名の写真集も刊行された。最新作に『STREETS ARE MINE』(大和書房)、『奥能登半島』(青土社)など。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願いいたします。尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

amanaTIGP 展覧会担当: 上松エリサ プレス担当: 増田絵梨花、野田舜士

〒106-0032 東京都港区六本木 5-17-1 AXIS ビル 2F tel: +81 (0)3 5575 5004 fax: +81 (0)3 5575 5016

e-mail: atp@amanatigp.com website: www.takaishiiigallery.com

営業時間: 12:00-18:00 定休日: 日・月・祝祭日



石川直樹「鹿児島県十島村悪石島／ボゼ」
2006年/2022年、Cプリント、73 x 90 cm

© Naoki Ishikawa



石川直樹「岩手県大船渡市三陸町吉浜／スネカ」
2012年/2022年、Cプリント、73 x 90 cm

© Naoki Ishikawa